

かとうゆうすけ 横須賀市議会議員/無所属/29歳

- 1988年 3月8日生 浦上台出身/在住
- 浦賀小学校・浦賀中学校卒
- 特技:中国語 ■趣味:ドラム ソフトテニス 釣り カラオケ
- 2006年 県立横須賀高校(58期)卒業 ソフトテニス部
- 2007年 吉田雄人インターンシップ生
- 2008年 南開大学(中国・天津)へ派遣交換留学
- 2010年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
(株)ワーク・ライフバランス インターンシップ生
- 2012年 アクセンチュア(株)退社、復興支援のため福島に移住し、復興支援団体 (一社)BridgeforFukushimaの職員として勤務。
- 2014年 復興庁福島復興局政策調査官を兼任。
- 2016年 4年半の復興支援を経て、横須賀へ戻る。
- 2017年6月25日 横須賀市議会議員当選。
会派 無所属みらい 委員会:都市整備常任委員会

加藤ゆうすけ



090-7710-7281(本人携帯)

<http://katoyusuke.net>
mail@katoyusuke.net

“加藤裕介”
@katoyusukeYK



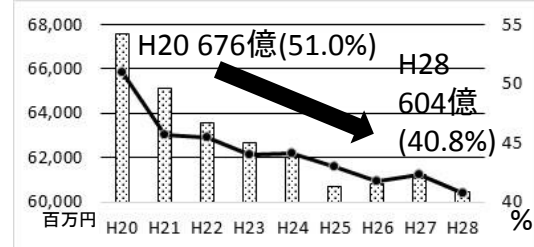
財政 公表されている「横須賀市の財政状況」をもとに、本市の財政状況を試みる【歳入編】

法律に基づいて、「横須賀市の財政状況」というものが年2回公表され、市のWebサイトで誰でも見られます。今回は、歳入(入ってくるお金)についてみてみます。

自主財源とは、市税など、市が集められるお金です。対して、依存財源は、様々な条件を満たすと国や県から受け取れるお金です。**表1**の通り、市税は大切な収入源です。しかし、**図1**の通り、ここ数年の市税収入を見ると、**市税収入金額も、歳入全体に占める割合も、減っています。**

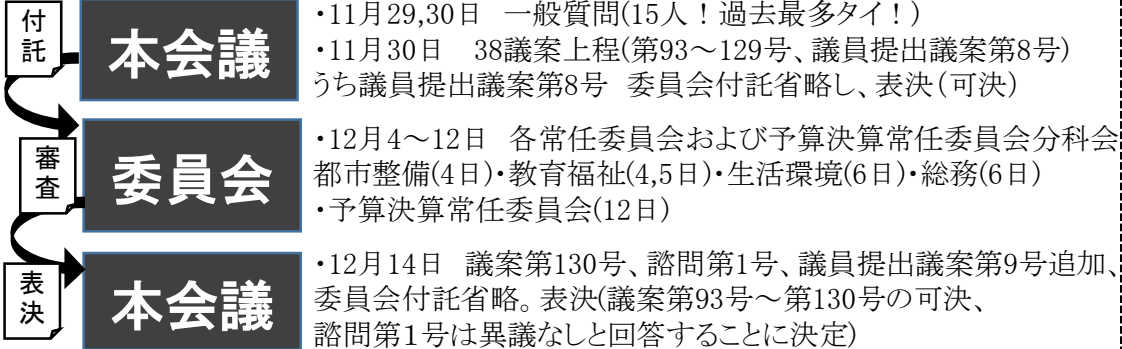
安定した市政運営には、**自主財源の割合が高いほうがよい**とされています。この数字を前に、皆さんは何を考えますか？

区分		平成28年度 決算額
自主財源 (56.0%)	市税	60,473,434
	諸収入	5,136,993
	使用料及び手数料	3,732,913
	繰入金	9,681,880
	その他自主財源	3,898,410
依存財源 (44.0%)	国庫支出金	22,345,843
	市債	13,002,700
	地方交付税	11,960,388
	県支出金	7,372,779
	その他依存財源	10,484,491
歳入合計		148,089,831



※出典 表1:「横須賀市の財政状況(平成29年12月1日公表)」
図1:平成21~29年の12月初旬公表の「横須賀市の財政状況」に基づき加藤が集計、作成した

今回(12月定例議会)のながれ



「議会の仕組みがわからない!」とよくいわれます。大まかに申し上げます、

- 1)本会議で議案が出され、
- 2)議案は所管の委員会へわたされ(付託)、
- 3)委員会で話し合い(審査)、
- 3)最後、本会議で表決。

私の所属する都市整備常任委員会では、今秋の台風等被害復旧のため約4億円の増額補正予算案を審査しました。補正予算とは、想定していなかったことが起きたときに、予算を増減させ対応する方法です。今回は1974年平作川七夕水害以来の被害規模だそうです。

という流れです。加藤ゆうすけは、都市整備常任委員会と、予算決算常任委員会に所属しています。

裏面へ続く

一般質問では「路上喫煙から市民を守る対策」「ペットとの安心できる暮らし」について取り上げました。

9月定例議会に続き、12月定例議会でも一般質問をしました。

①「路上喫煙から市民を守る対策」

日頃駅頭でチラシ配り・街頭演説をする中で目にする路上喫煙がきっかけでした。横須賀市には、既に「ポイ捨て防止及び環境美化を推進する条例」が20年前からあり、路上喫煙をしないよう努めることが定められています。しかし、路上喫煙は未だに無くなりません。中でも、朝、駅前での路上喫煙は、通学する学生の目の前に火があるので、とても危険です。

確かに、条例は効果をあげました。吸い殻のポイ捨ては激減したのです。しかし、ポイ捨て防止の観点から生まれた条例は、「携帯灰皿を持っており、ポイ捨てはしていないが、駅前で喫煙している人」の存在には、無力だったのではないのでしょうか。そのため今回は、

- ①ポイ捨て防止以外の路上喫煙防止への対策
- ②駅前の通学時間帯の路上喫煙防止強化

をメインに、質問しました。



②「ペットとの安心できる暮らし」

横須賀市にも、犬猫を飼う家庭が多いと感じる地域がいくつかあります。「市民の3割が高齢者の横須賀市で、犬猫のいる市民の暮らしはどうなっていくのだろう?」という疑問が、質問のきっかけでした。

今や、犬猫は人間の社会の中でともに生活していくパートナーです。飼い主が高齢で世話が難しくなっても、ペットを失うことは、家族を失うような喪失感をもたらすため、引き離すことは難しいでしょう。とはいえ、やむを得ず離れざるを得ない場合も、確実に生じます。それが、
①飼い主の死亡や、健康状態の悪化
②災害等の非常時

調べてみると、犬は市内に23,913頭いることがわかりました。猫も同数程度いるだろうと推測されますが、猫には登録制度が無いので、正確な数も、どこに何匹いるかもわかりませんでした。

そこで、①②のような場合、市としてどのように対応するかを、質問しました。



■答弁で明らかになったこと(抜粋)

- ・今は横須賀中央駅周辺のみが指定されている路上禁煙地区を、他の駅前に拡大することも選択肢の一つとして、検討する。😊👍
- ・駅前への分煙コーナーの設置は、費用と敷地を用意するのが難しい。😞
- ・高齢者世帯のペットに起因する生活環境の問題については庁内関係部局と情報を共有する体制を整え、丁寧に対応する。😊
- ・市内71か所の震災時避難所は全て、震災時にペットを受け入れることを想定している。😊

政策 5 健康な生活習慣を大切にする風土をつくります。

子どもの健康に有害な駅前喫煙を無くすため、条例で路上禁煙区域を増やします。

政策 7 誰もが納得して最期を迎えられるようにします。

高齢の障害者が、納得できる最期を迎えられる体制をつくります。

チラシvol.5で記載した12の政策のうち、今回の質問は政策5、7にあたります。

※「答弁で明らかになったこと(抜粋)」は、加藤ゆうすけの主観的な要約です。正式な会議録は、3か月程度経ってから公表されます。

■加藤ゆうすけ市政報告会 開催します！■

2月4日(日曜) 15:30-16:30 Cool Clan Cafe

Uruga(浦賀駅徒歩2分) 予約不要/無料 (カフェをお借りするので、1品ご注文をお願いします)

